

# まつど議会だより

発行／松戸市議会  
編集／広報委員会  
千葉県松戸市根本387-5  
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

## 松戸運動公園が さらに使いやすくなりました



スポーツ振興くじ助成金を受け、運動公園野球場の人工芝化工事を実施するとともに、体育館の天井にLED照明と空調を設置し、快適に使えるようになりました。これを受け、今定例会で他のスポーツ施設も含め、料金体系が見直されます。

●問い合わせ先 スポーツ課 TEL 047(703)0601

### 市議会 トピックス

#### 松戸市議会新体制スタート

平成30年11月18日に行われた市議会議員選挙で44人の議員が決まりました。

2面に会派別一覧、3面に各委員会の構成を掲載しています。



第68代副議長  
すぎやま よしひろ  
杉山 田 祥



第67代議長  
やまぐち えいじ  
山口 栄 作

#### 議長・副議長 就任のご挨拶

市民の皆さまには、平素より市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、私たち両名は、平成30年11月臨時会において、議長・副議長に就任いたしました。議決機関である議会をまとめていく責任は極めて重く、改めて身の引き締まる思いがいたします。

さて、本市議会におきましては、平成21年4月に松戸市議会基本条例を制定し、本年度施行から10年を迎えようとしております。この基本条例の精神のもと、私たち市議会議員は、不断の努力を重ねながら、市民の皆さまの福祉向上を目指してまいりました。さらに変わりゆく時代の中、市民ニーズの多様化に 대응べく、引き続き、市民の皆さまの声を真摯に受け止め、時代に合わせた市議会としての役割を果たしていきたいと思っております。そのためにも、今後も議会改革を一層推進してまいります。

本年5月には、新しい元号を迎えることとなります。私たち市議会議員も先の選挙を経て、新たに第20期議員として活動を開始しました。議員それぞれが、市民の皆さまから選ばれたということを肝に銘じ、松戸市における重要な課題を議会一丸となって取り組む所存でございます。今後とも皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 11月臨時会

平成30年11月27日に改選後初めての招集となる臨時会を開催しました。はじめに議長、副議長の選挙を行い、続いて各委員会の委員を選任し、その後委員長、副委員長の互選を行いました。さらに市長から提出された議会選出監査委員を選任する議案2件にそれぞれ同意し、閉会しました。

(2面に審議結果、3面に各委員会の構成を掲載)

#### 12月定例会

平成30年12月定例会を12月6日から12月25日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された人権擁護委員候補者の推薦議案4件に同意しました。このほか市長が提出した条例などの一般議案12件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案8件を上程し、採決しました。

(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)  
なお33人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

# 11月臨時会・12月定例会 審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
<b>11月臨時会</b>									
<b>市長提出議案</b>									
第26号	監査委員の選任（大谷茂範）	—	同意	全会一致	第35号	松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 松戸市立福祉医療センター東松戸病院の病床数を変更するため。	健康福祉	可決	全会一致
第27号	監査委員の選任（伊東英一）	—	同意	全会一致	第36号	契約の変更（松戸市立上本郷第二小学校屋内体育館新築工事） 公共工事設計労務単価の上昇に伴い、契約金額を変更する必要があるため。	教育環境	同意	全会一致
<b>12月定例会</b>									
<b>市長提出議案</b>									
第28号	平成30年度松戸市一般会計補正予算（第3回） 市民活動サポートセンターならびに北山会館は、今年度で、管理代行期間が終了することから、引き続き、安定した運営を確保するため、債務負担行為を追加し、期間と限度額を設定する。	総務財務	可決	全会一致	第37号	市道路線の認定 開発行為による道路の帰属等に伴い、市道路線の整備を行うため。	建設経済	可決	全会一致
第29号	松戸市議会議員及び松戸市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定 公職選挙法の改正により、市議会議員選挙におけるビラの頒布が解禁されたことに伴い、当該ビラの作成にかかる公費負担について規定するため。	総務財務	可決	全会一致	第38号	指定管理者の指定（松戸市北山会館） 松戸市北山会館の指定管理者の指定期間が平成31年3月31日をもって満了するため。	健康福祉	同意	全会一致
第30号	松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定 運動公園体育館及び運動公園野球場の改修工事が竣工したことに伴い、当該施設の使用料の改定を行うとともに、既存施設の料金体系の見直しを図るため。	教育環境	可決	全会一致	第39号	指定管理者の指定（まつど市民活動サポートセンター） まつど市民活動サポートセンターの指定管理者の指定期間が平成31年3月31日をもって満了するため。	教育環境	同意	多数意見
第31号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定 職員の定数を部局間において調整するとともに、病院事業における医療職員の定数を増員し、診療体制の充実を図るため。	健康福祉	可決	多数意見	第40号	人権擁護委員候補者の推薦（若林桂子氏）	—	同意	全会一致
第32号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	多数意見	第41号	人権擁護委員候補者の推薦（野村義氏）	—	同意	全会一致
第33号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定 一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定に準じ、市長、副市長等の期末手当の支給割合を引き上げるため。	総務財務	可決	多数意見	第42号	人権擁護委員候補者の推薦（山口勤氏）	—	同意	全会一致
第34号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定 国家公務員の給与改定に準じ、俸給月額、宿日直手当の額及び勤勉手当等の支給割合を引き上げる等するため。	総務財務	可決	全会一致	第43号	人権擁護委員候補者の推薦（西村隆一氏）	—	同意	全会一致
					<b>議員提出議案</b>				
					第16号	米軍の普天間飛行場閉鎖・撤去と辺野古新基地建設中止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第17号	消費税率10%への増税を中止するよう求める意見書	—	否決	多数意見
					第18号	国民健康保険料（税）引き下げへの対応を求める意見書	—	否決	多数意見
					第19号	憲法尊重擁護義務の厳守を求める意見書	—	否決	多数意見
					第20号	石炭火力発電所の新增設の中止を求める意見書	—	否決	多数意見
					第21号	Society 5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書	—	可決	多数意見
					第22号	認知症施策の推進を求める意見書	—	可決	全会一致
					第23号	無戸籍問題の解消を求める意見書	—	可決	全会一致

## 会派別一覧

松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

公明党 10人				まつど自民 8人				政策実行フォーラム 8人			
幹事長	城所正美	きどころ	まさみ	幹事長	木村みね子	きむら	みねこ	幹事長	二階堂剛	にかいどう	つよし
副幹事長	諸角由美	もろすみ	ゆみ	副幹事長	大谷茂範	おおたに	しげのり	副幹事長	関根シロ	せきね	じろう
	篠田哲弥	しのだ	てつや		大塚健児	おおつか	けんじ		成島良太	なりしま	りょうた
	鈴木智明	すずき	ともあき		大鈴木大介	すずき	だいすけ		岡本優子	おかもと	ゆうこ
	松尾尚	まつお	ひさし		石井勇	いしい	いさむ		戸張友子	とばり	ともこ
	岩瀬麻理	いわせ	まり		杉山由祥	すぎやま	よしひろ		D E L I	でり	
	高橋伸之	たかはし	のぶゆき		田居照康	たい	てるやす		増田薫	ますだ	かおる
	伊東英一	いとう	えいいち		小沢暁民	おざわ	あけみ		原裕二	はら	ゆうじ
	飯箸公明	いはし	きみあき								
	織原正幸	おりはら	まさゆき								
市民クラブ 7人				日本共産党 4人				無所属			
幹事長	末市裕人	すえまつ	ひろと	幹事長	宇津野史行	うつの	ふみゆき	無所属			
副幹事長	川原一	いしかわ	けいいち	副幹事長	平田きよみ	ひらた	きよみ	無所属			
	渋谷剛士	しぶや	つよし		ミール計恵	みいる	かずえ	無所属			
	岩堀研嗣	いわほり	けんし		山口正子	やまぐち	まさこ	無所属			
	山深一	やまふか	いさく					無所属			
	中山能孝	みやま	よしかず					無所属			
	中川英孝	なかがわ	ひでたか					無所属			
みらいクラブ 4人											
幹事長	桜井秀三	さくらい	しゅうぞう								
副幹事長	大橋博	おおはし	ひろし								
	大鷹野聡	おほたけ	さとし								
	箕輪信矢	みのわ	しんや								

(平成30年12月6日現在)

**議員定数 44人**

# 委員会の審査から

12月17日・18日・19日・20日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

## 総務財務 常任委員会

議案第28号 平成30年度松戸市一般会計補正予算（第3回）

管理代行業務の債務負担行為額は、前回の金額と比べ相違はあったか。またその理由は、

市民活動サポートセンター管理代行料では、事業費、人件費、消費税で約3100万円増加している。事業費増額の内訳として、現在、市の直営で実施している人材育成のための「まつど地域活躍塾」を新たな事業として指定管理業務に組み入れていることなどがある。

北山会館管理代行料では、経費削減として維持管理費、需用

費、一般管理費の減額があるが、人件費、消費税の増額があり、約800万円増加している。

議案第34号 松戸市一般職の職員給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本市のラスパイレース指数は、千葉県では4位だが、平均給料の順位は、

総務省発表の一般行政職の平均給料は県内41位である。

人事院勧告により5年連続引き上げとなったが、給与制度の総合的見直しで引き下げた当時の金額を上回っているか。

給与制度の総合的見直しと前と行政職俸給表を比較すると、平均で7988円下回っている。

## 健康福祉 常任委員会

議案第31号 松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

条例改正で病院事業において医療職員の定数を増員させることにより、病院経営にどのような影響があるか。また中長期的な目標について伺う。

定数増員により一時的に固定費の多くを占める給与費が増加するが、これは医療の質の向上、医療収益の増加、特殊病床に対する患者需要に 대응するために必要な初期投資であり、医療と経営を支える土台となると認識している。今後は入院収益

の増加に努めるとともに、職員の適正配置、経費の適宜見直し等を図りキャッシュフローを改善させる。中長期的には、一般会計からの繰入金を漸次減らしていくことが重要と考える。

議案第38号 指定管理者の指定について（松戸市北山会館）

指定管理者への応募が1者となったことに対する考えは、

北山会館の指定管理者への応募は2期連続で1者となっている。前回の結果を踏まえ募集要領を検討し、今回は応募要件を緩和する等広く募集したが最終的には1者となった。今後は、他市の状況を勘案したり、過去に応募実績のある事業者に対し今回応募に至らなかった理由の聴取を行う等、総合的に再検討する必要性を認識している。

## 教育環境 常任委員会

議案第30号 松戸市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の制定について

使用料増額による歳入の見込みと、リニューアル後の利用者からの反響は、

使用料については、体育館は約180万円、野球場は約90万円の増額が見込まれる。利用者からの反響としては、野球場では、人工芝になり、土を相模産の黒土に入れ替えたことで最高のコンディションになった、当該野球場でプレーすることが子どもたちの目標になったなどの声があった。また体育館では、

猛暑の中でも快適にプレーできたとのことで、それぞれに好評の声をいただいている。

議案第39号 指定管理者の指定について（まつど市民活動サポートセンター）

審査の過程における透明性の担保をどう考えるか。

委員会の審査の中で出た委員からの意見・要望などを優先交渉権者に伝えて、市と事業者が課題を共有することは、審査委員会の審査内容を尊重し行つたものであり、より良い事業の遂行につながると考えている。

また委員から出された意見を勘案し、事業者から新たに提案されたことについては、委員に個別に交渉内容を伝えて承諾を得たものであり、透明性や手続き上の問題は無いと考える。

## 建設経済 常任委員会

議案第37号 市道路線の認定について

当該議案の市道路線の認定のうち、松戸都市計画道路3・3・7号について、この計画が決定されたのはいつか。また、この事業費の総額は、

当初、都市計画決定されたのは、昭和39年9月14日である。その後、計画の変更が平成30年1月23日に行われている。当該事業費の総額は、用地や物件に関する費用に約22億円、工事に関する費用に約48億円、合わせて約70億円になると見積もっている。

松戸都市計画道路3・3・7号についての説明会が行われたようだが、どのような質問があったか。

説明会では、当該計画道路から武蔵野線をわたる跨線橋が通り抜けできなくなることに對する質問、道路の段差や工事全体の施工中の騒音関係、関連する北千葉道路の進捗などに関する質問があった。

この議案が可決された場合、どのようなスケジュールで事業は進んでいくのか。

現在までに事業認可を受けているのは、平成30年3月27日から37年3月31日までの7年である。今後、道路用地の確保として、事業用地の取得に努め、33年度に着手できるように事業を進めている。

# 委員会の新しい構成が決まりました

### 建設経済常任委員会

- 委員長 石井 勇
- 副委員長 松尾 尚
- 委員 ミール 計 恵
- 〃 鷹野 聡
- 〃 岡本 優子
- 〃 増田 薫之
- 〃 山中 啓幸
- 〃 織原 正士
- 〃 渋谷 剛作
- 〃 山口 栄由
- 〃 杉山 祥

### 教育環境常任委員会

- 委員長 高橋 伸之
- 副委員長 箕輪 信矢
- 委員 中西 香澄
- 〃 戸張 友子
- 〃 D E L I
- 〃 篠田 哲弥
- 〃 平田 きよみ
- 〃 飯箸 公明
- 〃 木村 みね子
- 〃 末松 裕人
- 〃 小沢 暁民

### 健康福祉常任委員会

- 委員長 岩堀 研嗣
- 副委員長 鈴木 智明
- 委員 中村 典子
- 〃 成島 良太
- 〃 大塚 健児
- 〃 山口 正子
- 〃 大橋 博
- 〃 原 裕二
- 〃 鈴木 大介
- 〃 諸角 由美
- 〃 深山 能一

### 総務財務常任委員会

- 委員長 市川 恵一
- 副委員長 岩瀬 麻理
- 委員 大谷 茂範
- 〃 関根 ジロ一
- 〃 伊東 英一
- 〃 宇津野 史行
- 〃 桜井 秀三
- 〃 二階堂 剛
- 〃 城所 正美
- 〃 中川 英孝
- 〃 田居 照康

### 議会運営委員会

- 委員長 城所 正美
- 副委員長 渋谷 剛士
- 委員 大谷 茂範
- 〃 関根 ジロ一
- 〃 伊東 英一
- 〃 飯箸 公明
- 〃 木村 みね子
- 〃 宇津野 史行
- 〃 桜井 秀三
- 〃 二階堂 剛
- 〃 末松 裕人

\*議会運営委員と常任委員の任期は、委員会条例により2年となっています。

# 一般質問

12月定例会では12月7日・10日・11日・12日・13日の5日間にわたり、33人の議員が市政に関する一般質問を行いました。そのなかから、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

## 粗大ごみの処理手数料の細分化と持ち出し収集の導入を

公明党

松尾 尚

問 本市の粗大ごみ手数料は大小にかかわらず一律だが、船橋市では品目等により段階を設けバランスよく設定されている。また高齢者世帯等に対し、屋内から持ち出し収集する「クリーンサポート収集」を行っている。

これらを本市でも導入すべきと考えが見解を伺う。

答 手数料は新たに設置する粗大ごみを一括して処理する施設の稼働に合わせ、品目の見直し等、負担軽減の方策を検討していく。また高齢者等ごみ出しが困難な世帯に対し実施している「家庭ごみ訪問収集事業」について、現在、さらに使いやすくなるよう福祉部門と協議しており、粗大ごみの持ち出し収集のあり方も併せて考えていく。

## 特別養護老人ホーム

について

政策実行フォーラム

成島 良太

問 特別養護老人ホームは、十分な人口予測に基づいて建設すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 特別養護老人ホームの建設は「いきいき安心プランVIまつど」により、平成30年度から

32年度までに広域型特別養護老人ホームを180床以内整備する計画である。また2025年度までに、さらに200床の整備を盛り込んでいる。松戸市人口ビジョンでは2030年をピークとして75歳以上は一旦減少していく傾向と推計されるため、施設の耐用年数なども考慮し、需要に変化が生じた場合の汎用的な活用について、地域共生社会の実現の観点からも研究していく。

## 小中学校トイレの洋式化について

公明党

篠田 哲弥

問 小中学校のトイレ洋式化は、スピード感が大事である。事業期間短縮の観点から、従来型公共事業方式に頼るだけでなく、リース方式やPFI方式を検討する必要があると考え、本市の見解を伺う。

答 現在実施している改修手法は、年間に実施可能な工事件数は多くないため、改修が完了するまでに、相応の期間が見込まれる。現在の整備手法に限らず、他の整備手法を導入する可能性も含めて、今後の方針を検討する段階と考えている。整備期間や改修範囲を見直し、改修事業費や事業効果など比較検討し、平成31年度を目標に今後の整備手法の方向性を定め、効果的・効率的に推進していく。

## 特定不妊治療費助成の申請条件の緩和を

政策実行フォーラム

岡本 優子

問 本市で行う特定不妊治療費助成に事実婚の方を対象にする考えは。また「住民基本台帳に1年以上記載」とある助成条件の期間を緩和できないか伺う。

答 特定不妊治療費の助成は、国の基準に基づき、千葉県が「法律上の婚姻をしている夫婦」を助成要件としており、市もこれに準じている。しかしながら、平成29年に国が開催した、不妊に悩む方への特定治療支援事業に関する「意見を聴く会」においても議論が交わされたことから、引き続き国や県の動向を注視していく。次に助成を受けるための期間の条件については、県や先進自治体の状況なども参考に研究し、検討していきたいと考える。

## 防犯灯設置の推進を

まつど市民

鈴木 大介

問 和名ヶ谷地域の国分川隣接の市道等では、防犯灯が設置されていないため暗くて怖いと地域住民から多くの声があがっているが、防犯灯設置の考えは。

答 防犯灯については、地域の町会・自治会が主体となり市

と協議した上で、市は認定工事費の8割を補助し、残りの2割を町会・自治会が負担し整備していただいている。周辺に住宅が少なくても多数の市民が利用する生活道路等については、町会・自治会が市と協議した上で、整備が必要と判断した場合に認定工事費の10割を補助している。当該道路は明るさが十分ではなく、利用者が多い現状を確認したため、当該道路を区域とする町会と協議し整備を進める。

## 新生児聴覚検査の導入と公費助成を

公明党

岩瀬 麻理

問 聴覚障害は早期発見により障害の程度の軽減が期待できるため、全ての新生児への聴覚検査実施と公費助成を提案してきたが、その後の状況について伺う。

答 本市では、新生児聴覚検査は千葉県内統一での実施が不可欠と考え、実施体制の整備について県に要望書を提出している。県では市町村を実施主体とした推進体制の整備を開始し、具体的な検査実施や公費負担の方法を含む実施体制マニュアルの作成が検討されていると聞き及んでいる。今後

も県の動向を注視し、速やかな実施に向け働きかけていく。



## 放課後児童クラブ委託化の進捗状況は

公明党

鈴木 智明

問 放課後子ども総合プラン事業において、小学生の放課後の居場所づくりとして放課後児童クラブを全公立小学校45力所の学校区に設置し、平成31年度から放課後児童クラブの委託化が開始されるようだが、委託化

の進捗状況について伺う。  
答 委託化の進捗状況については、現在、放課後児童クラブ委託事業者選考委員会を開催中であり、30年12月中には、全小学校45校の優先交渉事業者が決定する予定である。事業者決定後は、委託化に向け準備を進めていく。



## 稔台地区の歩道整備を

みらいクラブ

箕輪 信矢

問 みのり台駅から稔台交差点に向かう道路は、歩道が狭い上、側溝ふたや段差等により歩きにくい状況である。路面の状態を改善するなど、誰もが不安なく通ることができ環境整備に向けた取り組みについて伺う。

答 当該道路は、車両・歩行者交通量とも多い路線であるが、歩道幅員は狭く、さらに電柱や商店街灯なども設置されており、歩行者に不便をかけていることは認識している。歩道に側溝が整備され、歩行者がその上を歩行しているが、側溝ふたの一部破損や隙間が開いている箇所などを確認しており、早急に側溝ふたの補修や間詰めなどを実施し、安全に利用できるよう環境改善をしていく。

### 甲状腺超音波検査の 周知拡大について

#### 政策実行フォーラム

増田 薫

**問** 平成30年度の申込者数の現状を踏まえ、甲状腺超音波検査の周知拡大の具体策を伺う。

**答** 甲状腺超音波検査の周知は、広報紙や市のホームページへの掲載、各保健福祉センターや市民健康相談室での案内を

実施している。さらに当該事業を幅広く周知するため、ホームページのトップ画面に定期的に新着情報として掲載するなどの工夫を図っている。

30年度の検査の申し込み状況は、事業開始当時と比べ、年々減少しているが、放射線の影響による健康不安がある方へ周知する必要性を認識している。

今後は、近隣市の状況を踏まえ、当該検査の周知のあり方を前向きに検討していく。

### 北松戸駅東口の ロータリーについて

#### 公明党

高橋 伸之

**問** 市内に駅前ロータリーがいくつかあるが、特にJR北松戸駅東口のロータリーでは、車と歩行者が交錯し非常に危険な状況であるが市の対策を伺う。

**答** 当該箇所については、これまで、歩行者が乱横断する

ことに対して注意喚起の看板を設置し、歩道を通るように啓発してきた。しかしながら、依然として歩行者がロータリー内を乱横断し、車やバス等と接触する危険な状況が見受けられることから、さらなる安全対策を講ずるため、交通管理者である警察と協議を進めているところである。具体的にはロータリー内の歩道に横断防止柵を設置し乱横断の防止を図るとともに、歩道の拡幅を予定している。

### シルバー割引証の 対象拡大を

#### 政策実行フォーラム

関根 ジロー

**問** 高齢者の外出機会促進を目的としたシルバー割引証は、ゆめいろバス限定である上、交付対象も限られた地域の住民である。対象を市内の路線バスへ拡大し、交付対象者の地域要件を廃止する考えについて伺う。

**答** シルバー割引証は、交付対象者の6割以上が未申請であることから、まずは申請率を上げる取り組みが必要と認識しており、現時点で交付対象地域の拡大は考えていない。また高齢者の外出支援策としては、市内の路線バスでも利用可能なシルバー割引証を関係部署と連携し調査・研究していく。



実証運行中の松戸市ゆめいろバス(中和倉コース)

### 登下校中の児童の 安全対策を

#### 無所属

中西 香澄

**問** 市内小学校に通う児童の安全・安心を確保するためGPS端末による見守りシステム導入の進捗状況と今後の見通しは。

**答** 見守りシステムの進捗状況は、自治体や学校が導入している見守りシステムには2種類

あり、実績がある業者から詳細な情報を得ている。現在は、調査した見守りシステムの稼働実績校数や運用方法等の情報を基に研究している。

今後は実際に稼働している現場の声や具体的な運用状況等も確認するため、導入している自治体等に視察を予定している。この調査研究は平成30年度末をめどに慎重に進めていく。



### 市長の政治姿勢について

#### 無所属

山中 啓之

**問** 市長がマニフェストに掲げていた具体的な政策について伺う。常設型住民投票条例を設置したい考えに変わりはなくか。また議員定数の大幅削減とは何名程度を意味していたのか。

**答** 常設型住民投票条例案は、

否決となった経緯があるが、議会からの指摘事項、課題を検討し改めて提案したいと考えており、環境や時代の変化を踏まえるとともに、他自治体の動向等を注視しながら検討を重ねていきたい。

議員定数の削減は、議会において議員定数等協議会が設置され、その中で議論が重ねられた結果、現状維持が妥当と判断されたもので、議会の判断を尊重したい。

### 全ての学校図書館へ 学校司書の固定配置を

#### 日本共産党

ミール 計恵

**問** 学校司書の固定配置の効果と今後の見通しについて伺う。

**答** 主体的・対話的で深い学びの実現のための基盤として、学校図書館や学校司書の役割は一層期待されており、その配置の充実を図ることは大切である。

固定配置の学校からは「子どもたちが進んで本の相談をするようになった」などの成果があげられている。また授業に活用できる資料の提供による教員の負担軽減といった働き方改革の面からも効果があるとの声もあった。学校司書は、学校支援人材でも優先順位の高い人材であり、できるだけ早い全校固定配置の実現に向け努力したいと考える。



### 福祉まるごと相談窓口の 体制強化について

#### 公明党

諸角 由美

**問** 福祉まるごと相談窓口は、より身近な地域で気軽に相談できる体制へとさらなる強化が必要と考えるが、市の見解を伺う。

**答** 本市においては、介護保険制度の日常生活圏域である15圏域ごとに、介護・福祉の施設

整備や地域包括ケアの仕組みづくりを進めてきた。この圏域ごとで培われた連携を基盤とし、地域包括支援センターが高齢者のみならず、子どもや障害、生活困窮といったさまざまな分野の相談ができるようにするには、精神保健福祉士などの専門職の配置や、人員体制の強化が必要となる。今後、同センターを核とし、市民がより身近な地域で、さまざまな分野の相談ができるよう相談体制の整備を進める。

### 市役所の障がい者雇用への 取り組み状況は

#### 公明党

城所 正美

**問** 中央省庁や千葉県などの障害者雇用率の水増し問題の報道を受け、国から雇用促進策と再発防止策が発表されたが、市役所における障がい者雇用の取り組み状況を伺う。

**答** 市役所の障がい者雇用に

ついて、平成30年度は身体障害者を対象とした採用試験を6月と9月に2回実施しており、31年1月に3回目を実施する予定である。

この採用試験からは、受験資格の年齢要件について、40歳未満から50歳未満に拡大することにより採用試験の門戸を広げていく。今後も、市役所において積極的に障がい者を採用していきたいと考えている。

### 聖火ランナーについて

#### まつど市民

大塚 健児

**問** 東京2020オリンピック・パラリンピックが迫ってきたが、市内に聖火ランナーを走らせるためにどのような取り組みをしているか伺う。

**答** 市民が東京2020大会を身近に感じるために、聖火リ

レー誘致は大変重要だと考え、東葛6市では千葉県に対し「聖火リレーのルート選定に向けた要望書」を平成30年度2回、また本市独自でも2回要望書を提出した。さらに誘致啓発活動ポスターを作成し、公共施設等に掲示している。今後も聖火リレーの誘致や東京2020大会の機運醸成に努めていく。



### 猛暑等による市内農家への影響と対応は

まつど自民

石井 勇

問 平成30年の記録的な猛暑に加え、台風や豪雨による大規模な自然災害が多発したことに伴う市内農家への影響と対応は。

答 気象状況の不安定さにより、農業経営に影響が出ており、台風24号によるビニールハウス

等の破損被害は約20件あり、これらについては国の「被災農業者向け経営体育成支援事業」により、農産物の生産・加工に必要な施設・機械の再建・修理等を支援している。千葉県も支援内容を精査しているところであり、本市も県にあわせ、支援内容を決定する。また農作物被害についても、国の動向を注視するとともに、県農業事務所やJAとうかつ中央と連携し、農業者を支援していく。

### 下水道管路の老朽化対策と民間委託について

まつど自民

木村 みね子

問 下水道管路の老朽化への対策と施設の維持管理のために包括的民間委託をする考えは。

答 本市は早くから老朽化に危機感を持ち、近隣市に先駆け予防保全対策に取り組んだ。管渠延長約1470kmの約40

%にあたる約589kmを平成29年度までに調査し、その状況により修繕等を実施した。また調査した管渠延長の約4%にあたる約23kmの劣化が著しく、路線全体の更生工事を行った。包括的民間委託については、今後増加する管理施設と老朽化に対応するため、業務の効率化・サービスの向上などを総合的に勘案し、包括的民間委託を視野に入れた本市にふさわしい維持管理手法を検討したい。

### 学校の過剰な完食指導について

公明党

飯善 公明

問 以前は当たり前のようであった学校の過剰な完食指導だが、今の価値観では到底理解できず、今後は見直されるべきと考え、市の見解を伺う。

答 市としては、残さずに食べるという指導は、食べ物を大

切にする、好き嫌いせずバランス良く食べる習慣が身につくなどの効果があり、必要であると考えているが、給食時間を超えてまでの指導は適切ではないと考えている。また苦手な食べ物がある児童に対しては、保護者との連携を密にとり、個別に対応していくことが肝要である。これらについて、校長会議や栄養教諭、学校栄養職員の研修会などを通して、適切に給食指導が行われるよう指導していく。

### 在宅医療・介護連携支援センターの機能強化を

公明党

織原 正幸

問 在宅医療・介護連携支援センターには、障がい者へのアウトリーチ対応などさらなる機能強化が必要と考えるが、今後の方向性や展望について伺う。

答 センターには高齢者への支援だけでは解決困難な複合的

な課題を抱える相談も寄せられている。高齢者と同居する障がいのある子や引きこもりの子に医療的な課題がある場合も多く、医師のアウトリーチを求める声も高まっている。世帯全体を把握し支援を行う観点からも、支援対象者を障害分野に拡大する必要性を認識している。今後は、障害分野に精通した専門職を確保し、幅広い相談や医師のアウトリーチに対応できるよう体制整備の必要があると考える。

### 厚力災害における水戸市民の県外広域避難に関する協定について

政策実行フォーラム

DELLI

問 水戸市から本市に何人くらいの方が、どのような方法で避難してくる想定になっているか。また水戸市民が自家用車等で避難してくる場合、避難所と駐車スペースの確保はできるのか、市の見解を伺う。

答 水戸市と締結した協定は、広域避難の基本的な事項を定めるものであり、避難方法、避難場所等は、今後水戸市と協議を継続し、実施要領を取りまとめ

ていく。また水戸市から本市への避難者数は約1万6千人の想定で、現在、自家用車での避難を原則としている。駐車場の確保は、本市としても課題と認識しており、水戸市に対しこの旨を申し入れ、他の輸送手段等も含め、協議を継続している。

### 健康遊具の設置について

政策実行フォーラム

戸張 友子

問 比較的大きな公園では、健康遊具の設置が進んでいるが、大きな公園がない区域での健康遊具の整備状況は。また広く知ってもらうため、ホームページ以外の健康遊具の周知方法は。

答 健康遊具の設置について

は、高齢者を中心とした大人の健康増進を目的として2500平方メートル以上の街区公園、近隣公園を対象に、これまで32公園に103基設置した。今後は、地域間に偏りが少なくなるように、2500平方メートル未満の公園についても状況により健康遊具の設置を計画したい。また多くの方に活用していただくためにも、市民センターや支所などにマップを配置するなど幅広く周知できるように検討する。

### 病院事業の経営について

みらいクラブ

鷹野 聡

問 本市が直接病院事業を運営する理由について伺う。

答 本市の病院事業は「市民の健康保持に必要な医療を提供するため、病院事業を設置する」と条例に定められている。市立総合医療センターは千葉

県保健医療計画において、急性期医療を中心に、地域に必要な医療を提供する一方、東松戸病院・梨香苑は回復期以降の医療機能を提供している。以上を踏まえ現在の病院事業が提供している医療の守備範囲は、地域の中核病院・地域の福祉医療を支える病院であり、市民を中心とした地域住民に対し必要な医療を提供し、生命と健康を守ることに、本市が病院を運営する理由と認識している。

### 公立保育所の送迎用駐車場について

日本共産党

山口 正子

問 公立保育所における送迎用駐車場について、駐車場の整備状況と課題について伺う。

答 平成30年12月現在、17カ所の公立保育所のうち、駐車場が設置されている保育所は8カ所、周辺施設と連携し駐車ス

ペースを確保している保育所は2カ所ある。また30年度中に新たに1カ所整備を進め、合計11カ所となる予定である。送迎用駐車場については、これまで保育所の所庭を削って確保したり、周辺の公共施設へ共同利用のお願いをするなどして対応してきたが、保育所の規模や周辺環境もさまざまであるため、環境が整い次第計画的に整備を進めていく。



### 生活保護基準見直しによる市への影響は

日本共産党

平田 きよみ

問 平成30年10月の生活保護基準見直しにおける本市への影響と今後3年間で段階的に行われる見直しに対する考えを伺う。

答 見直しによる影響額は、世帯構成等で異なり世帯類型ごとの明示は難しいが、世帯によ

る生活扶助費の増減がみられた。市全体では、保護受給世帯数や状況等は月ごとに異なり全てが見直しの影響とは断定できないが、生活扶助費に限れば見直し前の9月分と見直し後の10月分では約200万円の減額となる。今後の段階的な見直しで保護費が減額となる受給中の方は、さらに計画的な支出を心がける必要があるため、日々のケースワーカー業務の中で今から必要な助言や指導に努めていく。

### 民間保育士の キャリアアップの現状は

政策実行フォーラム  
二階堂 剛

問 千葉県で開催しているキャリアアップ研修の状況と市内民間保育園等での受講状況は。

答 平成29年度千葉県主催の実施状況は、千葉市や柏市等で27日間行われ、本市から56施設99人の保育士等が受講している。

30年度は千葉市、柏市、市川市で69日間実施した。また千葉県保育協議会主催による研修は23日間予定され、9月に柏市で研修会を実施した。32年度には本市で研修を2回開催する予定で引き続き民間保育施設関係職員が、キャリアアップ研修を受講できる体制の確保に努めていく。



### 病院の電力調達コスト削減 について

政策実行フォーラム  
原 裕二

問 病院事業での電力購入の入札制度導入について、スケールメリットによる電気代削減を目指し、市立総合医療センター、東松戸病院、看護学校などの施設ごとではなく、まとめて入札する考えはあるか伺う。

答 現在の契約方法は、施設ごとに通常の電気需給契約を締結している。電力調達コスト削減方策として、各高圧受電施設を一括して契約することにより、スケールメリットが発生し、電気料金の削減が図れるよう平成31年度に契約を締結したい。現在は、準備として、最大需要電力、使用電力量の実績データの分析、数社の特定規模電気事業者への聞き取りによる情報の収集などさまざまな検討している。

### UR入居者に対する 民法改正への対応は

日本共産党  
宇津野 史行

問 民法改正により2020年4月以降、経年劣化等による修繕費は貸主負担となることが決まった。これは極めて有用な情報であり、UR入居者にも積極的に知らせるべきと考えますが、市の見解を伺う。

答 民法改正の施行以降は、経年劣化および通常損耗は貸主負担と明定される。URも修繕負担区分の見直しを検討しており、改正民法施行前でも貸主と借主の双方の合意があれば、賃貸借契約の変更を行うことができるという考えを示している。住宅セーフティネットの観点からURの動向を注視し、居住者への周知をURに働きかけるとともに、市も居住者向けに情報発信できるよう検討したい。

### NHK関連の 相談対応について

無所属  
中村 典子

問 本市でNHK関連の相談はどのような内容で、何件受けているのか。また相談への対応と今後の方針について伺う。

答 消費生活センターでは、「受信設備がないが受信料の支払い義務はあるか」「契約の勧

誘員の態度を指導して欲しい」などのNHK関連の相談を過去3年間で、毎年14件程度受けている。相談への対応としては受信料に関する問い合わせ窓口や営業センターの窓口等を問い合わせ先として紹介している。今後も適切なアドバイスや、専用窓口の紹介を行うとともに、消費者トラブルの未然防止のためさまざまな啓発活動を通し、安全で安心な市民生活の実現に努める。

### 市有財産の有償貸付 について

市民クラブ  
渋谷 剛士

問 小金原商店街の小金原第一、第二駐車場の貸付契約について、これまでの経緯と現状は。

答 (財)松戸市都市整備公社の解散にあたり小金原中央商店街振興組合から駐車場運営に

関し要望があり、平成25年度から振興組合と市有地の有償貸付契約を締結し30年度も契約を更新した。また近隣の大型商業施設開業に伴い、客足が減少し駐車場利用率が低下することを懸念し、貸付料の引き下げを要望されているが、市有地貸付料の算定方法は市内統一の基準を設けており、特定の地域や団体の貸付料を引き下げることが難しい。貸付の面積を見直すことで貸付料を約20%減額できる提案をし引き続き協議を進めていく。

### 市役所移転に伴う 交通渋滞の解決策は

みらいクラブ  
桜井 秀三

問 市役所移転反対の理由の一つに交通集中による渋滞がある。出口のない山の上に市役所を移転し、文化施設を複合化するにより人は集まるが、近隣には小中学校などもあり、混乱が想定される。交通渋滞の解

決策をどう考えているのか。

答 松戸駅周辺まちづくり基本構想では、新拠点ゾーンのまちづくり方針を「新たな松戸の顔となる便利で魅力あふれる拠点」と位置付けており、新拠点ゾーンの賑わいととも、交通量は増加すると考えている。そのため、それに対応した道路の拡幅等、周辺道路の整備を行い、通園・通学する児童生徒をはじめとした歩行者の交通安全対策の実施も検討している。

### 都市計画道路の 整備について

みらいクラブ  
大橋 博

問 松戸都市計画道路3・4・17号と3・4・23号の交差点整備の進め方について伺う。

答 当該交差点は、道路用地の確保のため、地権者と交渉してきたが、任意契約による用地取得は困難な状況である。この

ため、任意契約の交渉もこれまでどおり並行しつつ、苦渋の決断ではあるが、道路用地を確保できない場合を想定し、土地収用法に基づく手続きを開始した。整備の進め方として、平成30年10月に取得予定地の立入調査を実施し、30年度内に用地および工作物などを取得する権利を得るための裁決申請を行えるよう千葉県土地収用委員会事務局と協議等を進めながら、土地調査等の申請書類を作成している。

### 意見書3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- Society 5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書
- 認知症施策の推進を求める意見書
- 無戸籍問題の解消を求める意見書

### 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

わか 若 野 山 西  
 ばやし 林 村 口 村  
 けい 桂 義 勤 隆  
 こ 子 義 勤 一

### 議会選出監査委員

議会選出監査委員の選任に同意しました。

おお 大 伊  
 たに 谷 東  
 しげ 茂 英  
 のり 範 一

### 3月定例会の開催予定

平成31年松戸市議会3月定例会は、2月22日（金）から3月25日（月）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。  
 請願・陳情は、2月13日（水）正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月22日（金）	招集日・本会議（施政方針・議案提案理由説明）
25日（月）	各常任委員会（先議議案審査）
28日（木）	本会議（先議議案採決）
3月1日（金）	〃（一般質問）
4日（月）	〃（一般質問）
5日（火）	〃（一般質問・議案質疑）
6日（水）	総務財務常任委員会
8日（金）	健康福祉常任委員会
11日（月）	教育環境常任委員会
13日（水）	建設経済常任委員会
14日（木）	予算審査特別委員会
18日（月）	〃
19日（火）	〃
20日（水）	〃
25日（月）	本会議（議案等の採決）

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

### 議会を傍聴しませんか

議会では、市民の皆さまの生活に関するさまざまな問題を取り上げて審議しています。私たち議員が、どのような活動をしているか、議会を傍聴にいらっしやいませんか。

#### ●議会を傍聴するには

- (1) 開催当日、議会棟にて開会予定時刻の30分前から傍聴の受付を開始します。
- (2) 受付で住所・氏名をご記入ください。
- (3) 係員が傍聴席にご案内します。  
 ※車椅子等でお越しの方へは、リフトでのご案内ができません。
- (4) 手話通訳・要約筆記を希望される方は、事前にご連絡ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課  
 TEL 047 (366) 7381

### 松戸市議会の情報を ホームページで公開しています

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」から、お手持ちのパソコン、スマートフォンおよびタブレット型端末等でご覧いただけます。



松戸市議会 検索

議会中継

インターネット放映アクセス件数43万7,023件  
 （平成17年6月開設～平成30年12月末）

### 中田京前議員の 追悼の儀を挙げる



中田京前議員の追悼の儀が執り行われました。

中田氏は、平成6年7月から7期市議会議員に当選。この間に総務財務常任委員会委員、決算審査特別委員会委員などを務められ、経験豊富な議員として永年にわたり活躍されました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

平成30年12月6日の松戸市議会12月定例会招集日の冒頭で、在職中の11月5日に逝去されました。

### 声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。

詳しくは下記までご連絡ください。

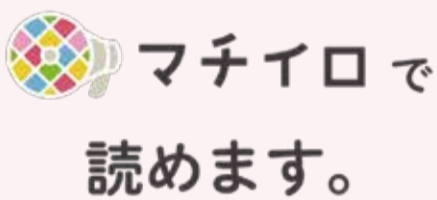
#### ●問い合わせ先

松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）

TEL 047 (383) 7111

住所 松戸市五香西3-7-1

### 議会だよりが



行政情報アプリ「マチイロ」は、自治体が発行する広報紙をスマートフォン・タブレットで読むことができるアプリです。スマートフォンやタブレットで「マチイロ」を検索するか、右のQRコードを読み取り、ダウンロードしてご利用ください。ダウンロードは無料です。



ダウンロードページへ

今号から  
 スマートフォン・  
 タブレット用アプリを  
 使った議会だよりの  
 配信を始めました!

### 編集の窓

平成31年を迎え、はじめての発行となる議会だよりをご覧いただきありがとうございます。

昨年11月に執行された松戸市議会議員一般選挙で市民の皆さまに選出された44人の第20期議員による松戸市議会がスタートいたしました。

地方自治は、行政を執行する市長とそれをチェックする議会の二元代表制となります。私たち議員は、地域住民の代表であることを自覚し、より開かれた議会を目指してまいります。

広報委員会としては、議会でのような議論をしているのか、わかりやすい議会だよりを作成することでその一助となるよう努力していきます。本年もよろしくお願いたします。

#### 広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 大塚健児  |
| 副委員長 | 松尾尚   |
| 委員   | ミール計恵 |
| 委員   | 鴈野聡   |
| 委員   | 岡本優子  |
| 委員   | 篠田哲弥  |
| 委員   | 原裕二   |
| 委員   | 伊東英一  |
| 委員   | 石井剛士  |
| 委員   | 渋谷剛一  |
| 委員   | 市川恵一  |

次回発行予定は5月1日（水）です。